## おうちのかた向け



#### 『としょかんライオン』

ミシェル・ヌードセン//さく ケビン・ホークス//え 福本 友美子//やく 岩崎書店

突然図書館にやってきたライオンに、みんなびっくり。しかし、一緒に時間を過ごすにつれて、徐々に大切な存在になっていきます。ところがある日、ライオンは図書館のきまりを破ってしまって…。きまりは守るもの。一方で、時にきまりを守ることより大事なことがある。優しさと思いやりに満ちた絵本。



#### 『サウスポー』

ジュディス・ヴィオースト/作 金原 瑞人/訳 はた こうしろう/絵 文溪堂

お互いに気になって仕方がない、だけど素直になれない、 リチャードとジャネット。ふたりは短い手紙のやり取り を通して、ゆっくり心を通わせていきます。不器用なふた りのやりとりはじれったくも微笑ましく、思わずきゅん としてしまいます。やわらかなタッチで描かれた、ふたり の姿や表情も見どころです。

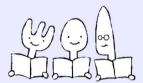


#### 『ひゃくおくまんのサンタクロース』

もたい ひろこ∥ぶん マリカ・マイヤラ∥え アノニマ・スタジオ

大人にこそ読んでほしい、サンタクロースの新しい物語。 そして、子どもたちが大人への階段を上り始め、いつか向かい合ってサンタクロースの話をするときが来たら、手渡したい物語でもあります。私たち大人にとっても、それは夢のような素敵なお話です。最初はお子さんには内緒で、手に取ってみて下さい。

# 2023 WINTER



# すすめの



燕市の図書館から赤ちゃんとおうちのかたへ おすすめの絵本をご案内します。



図書館ホームページ









赤ちゃんにおすすめ絵本 **燕市ホームページ** 

お問い合わせ 燕市立図書館 0256-62-2726 吉田図書館 0256-92-7650 分水図書館 0256-91-3255

X (旧 Twitter)

### 0~2 さい向け



#### 『ぷっくりぽっこり』

中村 至男//作 偕成社

本の真ん中には、まあるい小さな穴がぽかん。穴に指を入れてみると…柔らかい指が、ぷっくりぽっこり。触れるとなんだか不思議な感触。描かれた太陽や雲、おにぎりたちも、ぷっくりさせると表情が豊かに広がります。絵本を通じて肌も心も触れ合える、小さくてかわいらしい絵本です。



#### 『しろいおひげ なにたべた?』

MiyaUni∥さく KADOKAWA

元気に食事を楽しんだあと、おくちのまわりに現れるいろいろなおひげ。白いおひげは牛乳、赤いおひげは…何だろう?絵を見ながら「なにたべた?」と想像してみましょう。貼り絵で表現された、みんなが大好きな食べものや人の表情、そしておひげがとってもかわいくおしゃれです。



#### 『あんしんあにまるず。』

リサ・ラーソン//著 トンカチ

リサ・ラーソンが生み出した、「Unseen Animals(アンシーンアニマルズ)」。その音を「あんしんあにまるず。」と変えて、生まれた絵本です。意味を持つ「言葉」ではないけれど、心が伝わる「音」が、ここにあります。「あんしんあにまるず。」たちがくれる、あたたかな心のふれあいを感じてみてください。

# 3~5 さい向け



#### 『もりのおくのおちゃかいへ』

みやこし あきこ//著 偕成社

おとうさんに忘れ物のケーキを届ける途中、不思議な家に迷い込んでしまったキッコちゃん。ドアを開けたときのドキドキといったら…!思わず息をのんでしまうような緊張のあと、優しい時間が訪れます。「寒さ」と「あたたかさ」、「夢」と「現実」、「緊張」と「安堵」。さまざまなコントラストが響く、不思議な物語。



#### 『はたらきもののじょせつしゃけいてぃー』

バージニア・リー・バートンルぶん・え

いしい ももこ/やく 福音館書店

身動きできなくなるほどの大雪に見舞われた街のなか、雪をかき分け、颯爽と道を切り開いていくけいてぃー。「わたしに ついていらっしゃい」困っている人々に声をかけながら、どんどん進んでいって…。くたびれても、決して諦めない姿に心を打たれます。雪の日は窓の外に、その姿を探したくなりますね。



#### 『いっきょくいきまぁす』

長谷川 義史∥さく・え PHP研究所

昔懐かしいカラオケボックスが舞台になっています。登場する 楽曲は、童謡から昭和の名曲まで幅広く、お子さんはもちろん 大人まで、みんなで盛り上がること間違いなしです。ご家族が 集まる、年末年始の一冊にいかがでしょうか。小さな昭和の歌 謡スターが誕生するかも…!?